

《暫定版》

エクスカージョン

大会テーマ

インクルーシブな子ども環境～こどもの自由は土佐の山間より～

Aコース 高知市内のインクルーシブな子ども環境を巡るコース

【日 時】 2025年5月30日（金）8：45から17：00

【集合時間】 8：35

【集合場所】 高知工科大学永国寺キャンパス

【解散予定時刻】 17：00

【解散予定場所】 高知工科大学永国寺キャンパス（もしくはオーテピア高知図書館）

【定 員】 35名（申込順）

【参加費】 6,000円（保険代、坂本龍馬記念館入場料込み）

【申 込】 **事前申込制**（事前申込無しの当日参加はできません）

ご参加にはエクスカージョン参加費のほか**本大会の参加登録が必要**です。

【添乗担当】 横山卓（高知大学）、高橋秀俊（高知大学）

【その他】

- ・昼食は「桂浜公園・海のテラス」で各自お取りください。
- ・エクスカージョン事前申込後に送られる「受付確認書」をお持ちください。
お手元に届いていない場合は、大会参加及びエクスカージョンの事前申込みをし、受付が完了していることを示す、代替りのものをご用意ください。
- ・交通事情により到着時刻等が前後することがあります。予めご了承ください。

【見学コース】

8時45分永国寺 CP 発

浦戸小学校（9時半から11時・案内付き）→高知県立坂本龍馬記念館（11時半から12時過ぎ・案内付き）→各自昼食、桂浜公園・海のテラス→高知県立春野総合運動公園（14時から14時半・案内付き）→江陽小学校（15時半から16時過ぎ・案内付き）→17時頃に永国寺 CP 着

浦戸小学校：桂浜の近くにある海岸からの距離が直線・最短で100m、標高7.9mの小学校です。高知市の特認校指定を受けており、約60%の児童が校区外から通学しています。防災まちづくりに関する小学校での取り組みについて視察します。

高知県立坂本龍馬記念館：設計：高橋晶子（1991年竣工・2018年改修新館完成）

記念館の建つ場所は、戦国時代の長宗我部氏の城であり、江戸時代に土佐に入った山内氏が居城とした浦戸城跡です。太平洋に向かって開けた浦戸は、土佐の海の玄関であるとともに、龍馬たち幕末の土佐に生まれた志士たちにとって、大海原に続く"夢の入り口"だったのかもしれませんが。 <https://ryoma-kinenkan.jp/>

桂浜公園：雄大な太平洋に面している桂浜は、月の名所としても名高く、よさこい節にも唄われている景勝地。自然溢れる環境を活かしながら、遊歩道や公園内設備などを新しく整備しています。

<https://www.city.kochi.kochi.jp/site/kanko/katsurahamakouen.html>

高知県立春野総合運動公園：緑あふれる環境の中で、充実した設備と全国大会可能な規模の各種スポーツ施設が整備されています。広域大規模災害が発生した際の総合防災拠点であり、地下備蓄槽と災害トイレを導入しています。 <https://www.kochi-haruno.org/>

Bコース 『まきのさんの佐川』で展開される子ども環境と土佐和紙の紙漉き体験コース

【日 時】2025年5月30日（金）10：00から16:00

【集合時間】9：50

【集合場所】高知工科大学永国寺キャンパス

【解散予定時刻】16：00

【解散予定場所】高知工科大学永国寺キャンパス（もしくはオーテピア高知図書館）

【定 員】15名（申込順）

【参加費】6,000円（保険代、佐川おもちゃ美術館入場料、紙の博物館と紙漉き体験料込み）

【申 込】事前申込制（事前申込無しの当日参加はできません）

ご参加にはエクスカッション参加費のほか**本大会の参加登録が必要**です。

【添乗担当】松本智津（高知大学）

【その他】

- ・昼食は「まきのさんの道の駅・佐川」で各自お取りください。
- ・エクスカッション事前申込後に送られる「受付確認書」をお持ちください。
お手元に届いていない場合は、大会参加及びエクスカッションの事前申込みをし、受付が完了していることを示す、代替りのものをご用意ください。
- ・交通事情により到着時刻等が前後することがあります。予めご了承ください。

【見学コース】

10時永国寺 CP 発

佐川おもちゃ美術館（11時から11時半・案内付き）まきのさんの公園、隣接する「まきのさんの道の駅・佐川」で各自昼食→土佐和紙：いの町紙の博物館（13時半から15時・案内と紙漉き体験付き）→16時頃に永国寺 CP 着（もしくはオーテピア高知図書館）

佐川おもちゃ美術館：2023年に開館。植物学者・牧野富太郎博士の生誕地であり、町内の至るところで四季折々の植物が楽しめる高知県佐川町。「佐川おもちゃ美術館」は、遊びを通してその魅力を伝えます。館内は、木で作られた「植物」のおもちゃが数百個展示されるとともに、町内の林業家やものづくりチームの協力によりできあがった「木の空間」の中に木造大型遊具もあり、それらに触れて遊びながら、世代を超えて楽しむことができる「体験型美術館」です。
<https://sakawa-toymuseum.info/index.htm>

まきのさんの公園：一般財団法人しあわせづくり佐川が運営し、2024年3月にオープン。「まきのさんの道の駅・佐川」に隣接し、障害のある子どもも遊べるインクルーシブ遊具をはじめ、年齢別エリアのふわふわドーム、すべり山、大型複合遊具、フェンスで囲まれた乳幼児エリアが設置されています。

まきのさんの道の駅・佐川：仁淀川流域の新鮮な野菜などが並ぶ産直市や、地場産品・地酒をとりそろえた土産店が集います。
<https://makinosan.jp>

土佐和紙「いの町紙の博物館」：清流仁淀川の土佐和紙の歴史とその変遷をたどり、土佐和紙ができるまでの工程を知り、実際に紙漉きを体験して色紙やはがきを作ります。
<https://kamihaku.com/>